

金属屋根用ハイソリッド型1回塗り塗料

弱溶剤 2液型シリコン変性樹脂塗料

PSマイルドSコート

高光沢！

1回塗り！

希釈不要！

最高の仕上がり
工期短縮

1 最高の仕上がり

光沢と肉持ち感に優れ、屋根用塗料の中でも最高の仕上がりを持ちます。

2 工期短縮

1回塗りで仕上がるため、工期短縮につながります。



3 高耐候性

耐候性の信頼が高いパワーシリコンマイルドⅡの性能を目指して開発された製品です。1回塗りで通常のシリコン樹脂塗料2回塗りに匹敵する耐候性を持ちます。

4 希釈不要

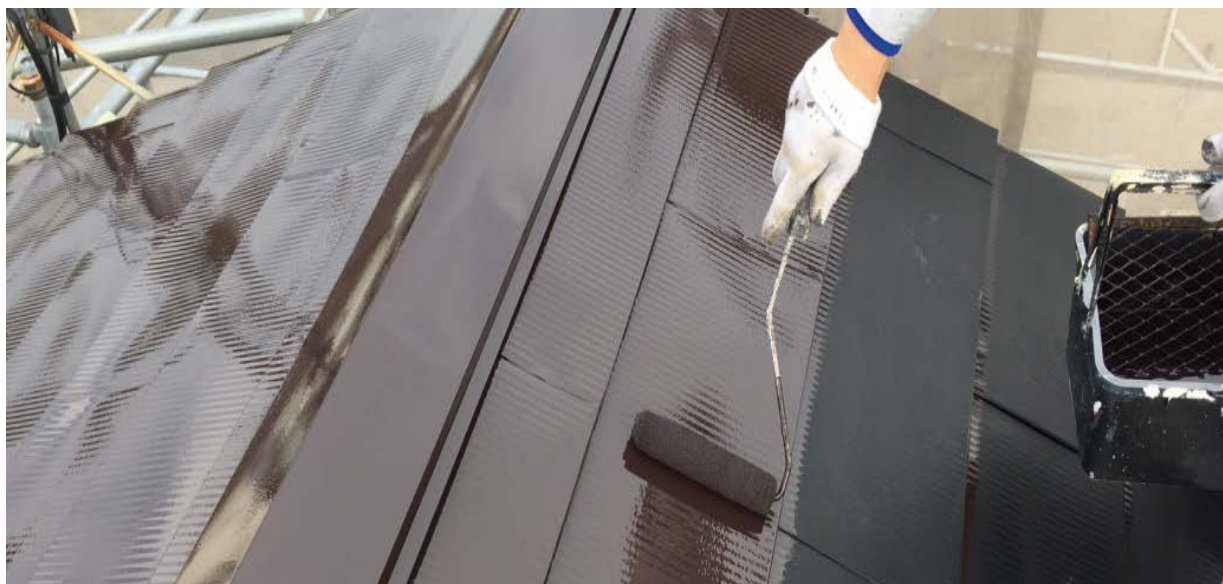
シンナー希釈が不要のため、シンナー選定や粘度調整の手間を省きます。

5 優れた乾燥性

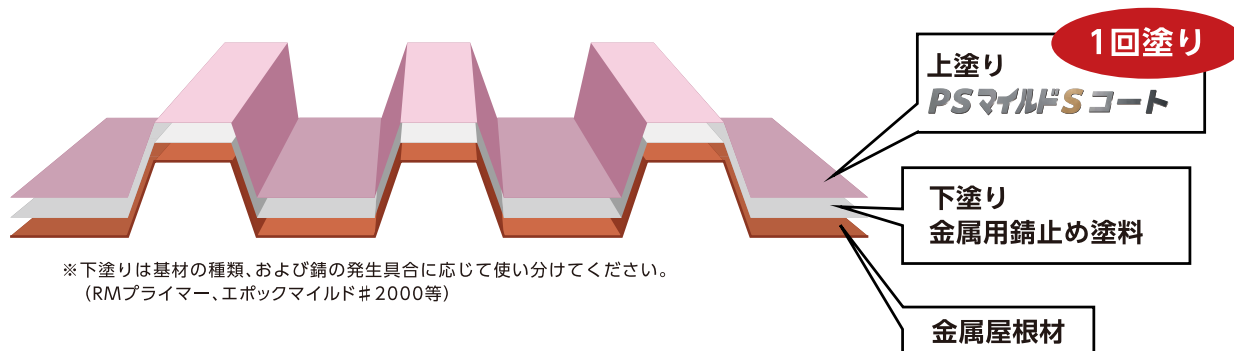
ハイソリッド（高固形分）型塗料にも関わらず優れた乾燥性を発揮するため、夜露や降雨によるトラブルを少なくできます。

防カビ性・防藻性

低汚染



塗装工程



※下塗りは基材の種類、および錆の発生具合に応じて使い分けてください。
(RMプライマー、エポックマイルド#2000等)

■ 錆止め塗料の選定について

● 錆の発生が軽度な場合

◆弱溶剤 2液型ポリウレタン樹脂防錆プライマー
RMプライマー

- ・下塗塗料でも耐候性良好！
- ・防錆性能○
- ・幅広い基材適合（特にガルバリウム鋼板への付着性は◎）
- ・取扱色：白、グレー、赤さび、黒

◆弱溶剤 1液型エポキシ変性樹脂防錆プライマー
エポックマイルド#1000

- ・1液タイプで作業性良好
- ・防錆性能○
- ・取扱色：クリーム、グレー、ブラウン、黒

● 錆の発生が著しい場合

◆弱溶剤 2液型エポキシ樹脂防錆プライマー
エポックマイルド#2000

- ・優れた防錆性能◎
- ・取扱色：クリーム、グレー、ブラウン、黒

■ 可使時間

100%の性能を発揮するために！

■ 主剤と硬化剤を混合してから塗装作業が可能な時間です。（屋根塗装の場合）

気温	PSマイルドSコート	RMプライマー	エポックマイルド#2000
30℃	5h以内（硬化剤S使用）	2.5h以内	7h以内
25℃	7h以内	3h以内	8h以内
20℃	8h以内	4h以内	8h以内
15℃	9h以内	5h以内	8h以内（硬化剤N使用）
10℃	10h以内	6h以内	10h以内（硬化剤N使用）
5℃	10h以内	6h以内	10h以内（硬化剤N使用）

※施工時の基材温度や風、日当たり状況等によって変化しますのでご注意ください。

塗装仕様

● 錆の発生が軽度な場合

■ 下塗りに RM プライマーを使用する場合

工程	使用塗料	希釈割合 RMシンナー	塗装 方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)	
							工程間	最終養生
素地調整	・錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。							
下塗り	RMプライマー 主剤 14kg 硬化剤 1kg	1～2.5L	ハケ ローラー	0.11～0.15	1	100～136	4h以上 10日以内	—
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	0※	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	—	24h以上

注意) 塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易い為、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

■ 下塗りにエポックマイルド # 1 0 0 0を使用する場合

工程	使用塗料	希釈割合 RMシンナー	塗装 方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)	
							工程間	最終養生
素地調整	・錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。							
下塗り	エポックマイルド #1000 15kg	3～4L	ハケ ローラー	0.14～0.16	1	94～107	4h以上 10日以内	－
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	0※	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	－	24h以上

注意) 塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易い為、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

● 錆の発生が著しい場合

■ 下塗りにエポックマイルド # 2 0 0 0を使用する場合

工程	使用塗料	希釈割合 RMシンナー	塗装 方法	塗付量 (kg/㎡/回)	塗回数 (回)	塗面積 (㎡/セット)	塗装間隔 (23℃)	
							工程間	最終養生
素地調整	・錆の発生が進行していたり、ワレ、ハガレ等のある場合は、3種ケレンにより錆や死膜を除去する。 その後、清掃、水洗、乾燥させてから塗装する。 ・旧塗膜が、塗料シンナーで簡単に溶解する場合の塗装は避けてください。							
下塗り	エポックマイルド#2000 主剤 16kg 硬化剤 2kg	0～1.5L	ハケ ローラー	0.14～0.16	1	113～129	16h以上 10日以内	－
上塗り	PSマイルドSコート 主剤 12kg 硬化剤A 3kg	0※	ハケ ローラー	0.17～0.19	1	79～88	－	24h以上

注意) 塗付量にはシンナーは含まれていません。塗付量は条件により増減します。

昼と夜の温度差が激しい季節(春、秋)には、結露による塗膜の艶引け現象が起こり易い為、できるだけ午後3時以降の塗装は避けてください。

■ PS マイルド S コートの材料選定について

● 硬化剤 硬化剤 A 硬化剤 S (夏用)

- ・硬化剤は2種類あります。気温が30℃を超え基材が高温になっている場合には「硬化剤S」をご使用ください。

● 希釈シンナー

※ 希釈シンナーは不要です

- ・希釈が必要な場合は季節に応じたRMシンナーをご使用ください。
- ・希釈の上限は0.5L/15kgセットまでとしてください。
- ・希釈が多いと規定膜厚にならない場合があります。

希釈不要!

■ 塗装後乾燥時間 (目安) 夜露や降雨によるトラブル解消のために!

■ 塗装後の夜露や降雨による艶引け白化等の不具合が起きにくくなるまでの時間です。

気温	PSマイルドSコート
30℃	5h以上(硬化剤S使用)
25℃	6h以上
20℃	6h以上
15℃	7h以上
10℃	8h以上
5℃	8h以上

※施工時の基材温度や風、日当たり状況等によって変化しますのでご注意ください。

■ 標準色

- No.12 ブラウン
- No.10 マルーン
- No.32 セルリアンブルー
- No.25 ウェザードグリーン
- No.73 ニューコーヒーブラウン
- No.72 カカオブラウン
- No.42 ナスコン
- No.74 モスグリーン
- No.79 ノアール
- No.67 ノースブラック
- No.77 ブルーブラック
- No.16 黒

注意事項

PS マイルド S コートはハイソリッド型 1 回厚塗りタイプの為、下記の注意事項を厳守してください。

- ・夜露や降雨等によるトラブル（艶引け・耐水白化・汚染等）を避ける為、「塗装後乾燥時間（目安）」を参考に塗装終了時間を設定してください。
- ・5℃以下での塗装は避けてください。
- ・35℃以上での塗装は、仕上がり感が悪くなるので、避けてください。

【仕様全般】

1. 降雨・降雪・強風が予想される時や高湿度（80%以上）・低気温（5℃以下）の場合は施工を避けてください。高湿度・低気温で塗装した場合、未乾燥状態で夜露などにあたると艶引けを起こすおそれがあります。
2. 塗装直後、降雨や結露等で白化した場合、目荒らしを行って再度塗装してください。
3. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
4. 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠ぺい力不足・仕上がり不良等が起こりますので注意してください。
5. ハケ塗り仕上げとローラー塗り仕上げが混在する場合、塗付量・表面肌が異なる為に若干の色相差がでますので、ハケ塗り部分は希釈を少なくして塗装してください。
6. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
7. ローラー塗りの場合、中毛ローラーを使用してください。
8. エアレス塗装の場合、塗料の飛散による汚染の可能性がありますので、必ず養生してください。
9. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には十分注意してください。
10. 補修部分が目立つことがありますので、同一塗料ロット・同一塗装方法で補修してください。また適正希釈にご注意ください。
11. 汚れ・傷等により補修塗料が必要な場合がありますので、使用塗料の控えは取って置き、同一ロット・同一塗装方法で補修してください。
12. シーリング面への塗装は、シーリング材の種類・使用条件により塗膜の汚染・剥離・収縮割れ等の不具合を起こす事がある為、基本的には行わないでください。やむを得ず行う場合は、塗り重ね適合性を確認してから必ずノンブリードタイプを使用してください。
13. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質（VOC 等）に過敏に反応される可能性がありますので、十分に注意してください。
14. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛ける事がありますので、十分に配慮をお願いします。
15. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

【塗料に関する注意】

1. 使用前には十分攪拌してください。
2. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は十分に気をつけてください。
3. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください（専用シンナーを使用してください）。
4. 2 液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の割合割合で混合し、マゼール等で十分攪拌してください。
5. 2 液型塗料は、塗料毎の可使用時間内に塗装してください。
6. 2 液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
7. 小分けする場合は、十分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
8. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず RM シンナーを使用してください。
9. 硬化剤はイソシアネートを含有している為、蒸気・ミスト等を吸い込まないようにしてください。又、皮膚に付着しないよう十分に注意してください。
10. 溶剤系塗料に使用するハケ・ローラーは、溶剤系専用のものを使用してください。
11. 溶剤系塗料に使用したハケ・ローラーの洗浄には、ラッカーシンナー又はアクリルシンナーを使用してください。
12. 2 液型塗料は、硬化が不十分な場合は、RM シンナーで再溶解する場合があります。
13. 2 液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。又、開栓後は早目に使い切ってください。
14. 材料の保管・取扱いは消防法・労働安全衛生法に基づき十分な管理をお願いします。



水谷ペイント株式会社

本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工 場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ **06-6391-3039**

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。